

平成２７年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1－1. 調査時点及び調査対象期間	
1－2. 調査対象	
1－3. 調査方法	
1－4. 回収状況	
第2章 概況	
2－1. 全体の動き・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2－2. 業種別の動き・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第3章 各判断項目回答割合	
3－1. 業況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3－2. 完成工事高・生産高・売上高・・・・・・・・	7
3－3. 在庫水準・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3－4. 採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3－5. 資金繰り・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
第4章 景況天気図	
4－1. 記号説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4－2. 全業種D.I.値の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4－3. 業種別D.I.値の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	11
第5章 産業別経営上の問題点・・・・・・・・・・	13
第6章 産業別設備投資の状況・・・・・・・・・・	14
第7章 業界の景気動向等その他ご意見・・・・・・・・	15

第 1 章 調査要領

1－1．調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点：平成 27 年 10 月 1 日（木）～平成 27 年 10 月 23 日（金）

(2) 調査期間：平成 27 年 7 月～9 月期実績、及び、平成 27 年 10 月～12 月期見通し

1－2．調査対象

網走市に所在する建設業（30 件）、製造業（24 件）、卸売業（21 件）、小売業（41 件）、サービス業（44 件）の 5 業種 160 社を調査対象とした。

1－3．調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

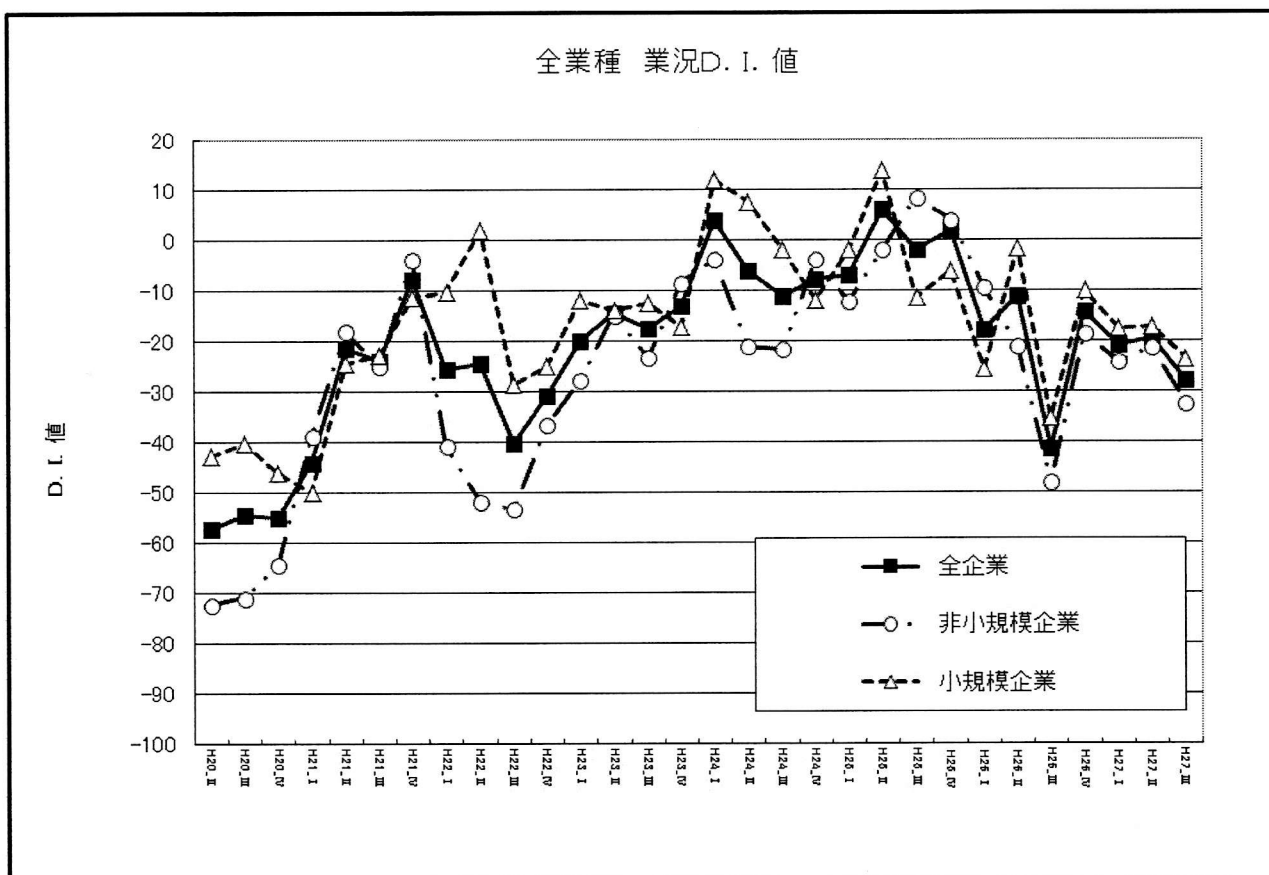
1－4．回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業	30 件	25 件 (非小規模企業：12 件) (小規模企業：13 件)	83.3%
製 造 業	24 件	17 件 (非小規模企業：6 件) (小規模企業：11 件)	70.8%
卸 売 業	21 件	18 件 (非小規模企業：9 件) (小規模企業：9 件)	85.7%
小 売 業	41 件	32 件 (非小規模企業：15 件) (小規模企業：17 件)	78.0%
サービス業	44 件	37 件 (非小規模企業：21 件) (小規模企業：16 件)	84.1%
合 計	160 件	129 件	80.6%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が 20 名以下（卸売業・小売業・サービス業は 5 人以下）を示す。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成27年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の業況は、前年同期比で「好転企業」17.8%、「悪化企業」37.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲19.4と前期と比べ1.4ポイント改善しました。規模別でみると、小規模企業のD.I.値は同0.3ポイント増の▲17.2、非小規模企業は同2.6ポイント増の21.6ポイントとなり、いずれも改善傾向を示しましたが小幅にとどまり、全体としては6期連続のマイナス水準で、網走市における景気停滞感は依然として解消されておらず厳しい状況に置かれています。

今期は全5業種中4業種で前年同期より悪化、特に建設業の下げ幅が最も多く▲40.0、続いて小売業の▲34.3、卸売業▲33.3、製造業▲11.8となりました。唯一、サービス業は観光シーズン等需要期を迎えたことから10.8と、前期と比較し18.9ポイント改善したものの、他の4業種全てでマイナス水準となりました。

次期<10月～12月>の業況判断DIは今期より8.5ポイント悪化の▲27.9を予想しており、年末に向けて更に厳しさが増す見通しを立てています。

前期プラスだったサービス業が37.8ポイント減の▲27.0と大幅なマイナス水準に転落、卸売業▲50.0建設業▲36.0、製造業▲17.7、小売業▲15.7と5業種全てでマイナスとなり、企業経営にどのような影響を与えるかは依然不透明で予断を許さない状況です。

経営上の問題点としては「人材不足」「売上の不振」「諸経費増」が上位を占めました。サービス業は「人材不足」を建設業においては「売上の不振」、製造業は「諸経費増」、卸売・小売業では「得意先の減少」を課題と位置づけ問題点に指摘しています。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	8.3%	58.3%	▲ 50.0	↘
非小規模企業	15.4%	61.5%	▲ 46.1	↘
全体	12.0%	60.0%	▲ 48.0	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	41.7%	▲ 41.7	↘
非小規模企業	7.7%	53.8%	▲ 46.1	↘
全体	4.0%	48.0%	▲ 44.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0%	25.0%	▲ 25.0	↘
	非小規模企業	0.0%	46.2%	▲ 46.2	↘
	全体	0.0%	36.0%	▲ 36.0	↘
完成工事高	小規模企業	8.3%	25.0%	▲ 16.7	↘
	非小規模企業	7.7%	53.8%	▲ 46.1	↘
	全体	8.0%	40.0%	▲ 32.0	↘
資金繰り	小規模企業	8.3%	8.3%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	7.7%	▲ 7.7	↘
	全体	4.0%	8.0%	▲ 4.0	↘

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	9.1%	36.4%	▲ 27.3	↘
非小規模企業	50.0%	33.3%	16.7	↗
全体	23.5%	35.3%	▲ 11.8	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	9.1%	36.4%	▲ 27.3	↘
非小規模企業	33.3%	33.3%	0.0	→
全体	17.6%	35.3%	▲ 17.7	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	9.1%	36.4%	▲ 27.3	↘
	非小規模企業	33.3%	33.3%	0.0	→
	全体	17.6%	35.3%	▲ 17.7	↘
生産高	小規模企業	0.0%	27.3%	▲ 27.3	↘
	非小規模企業	50.0%	33.3%	16.7	↗
	全体	17.6%	29.4%	▲ 11.8	↘
資金繰り	小規模企業	9.1%	27.3%	▲ 18.2	↘
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全体	5.9%	17.6%	▲ 11.7	↘

(3) 卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	22.2%	33.3%	▲ 11.1	↘
非小規模企業	11.1%	66.7%	▲ 55.6	↘
全体	16.7%	50.0%	▲ 33.3	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	11.1%	22.2%	▲ 11.1	↘
非小規模企業	11.1%	55.6%	▲ 44.5	↘
全体	11.1%	38.9%	▲ 27.8	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0%	33.3%	▲ 33.3	↘
	非小規模企業	0.0%	66.7%	▲ 66.7	↘
	全体	0.0%	50.0%	▲ 50.0	↘
売上高	小規模企業	0.0%	33.3%	▲ 33.3	↘
	非小規模企業	0.0%	66.7%	▲ 66.7	↘
	全体	0.0%	50.0%	▲ 50.0	↘
資金繰り	小規模企業	0.0%	33.3%	▲ 33.3	↘
	非小規模企業	0.0%	22.2%	▲ 22.2	↘
	全体	0.0%	27.8%	▲ 27.8	↘

(4) 小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	17.6%	41.2%	▲ 23.6	↘
非小規模企業	20.0%	60.0%	▲ 40.0	↘
全体	18.8%	50.0%	▲ 31.2	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	11.8%	47.1%	▲ 35.3	↘
非小規模企業	13.3%	60.0%	▲ 46.7	↘
全体	12.5%	53.1%	▲ 40.6	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	11.8%	35.3%	▲ 23.5	↘
	非小規模企業	20.0%	26.7%	▲ 6.7	↘
	全体	15.6%	31.3%	▲ 15.7	↘
売上高	小規模企業	17.6%	41.2%	▲ 23.6	↘
	非小規模企業	20.0%	33.3%	▲ 13.3	↘
	全体	18.8%	37.5%	▲ 18.7	↘
資金繰り	小規模企業	5.9%	35.3%	▲ 29.4	↘
	非小規模企業	7.1%	21.4%	▲ 14.3	↘
	全体	6.5%	29.0%	▲ 22.5	↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	40.0%	13.3%	26.7	↗
非小規模企業	45.5%	31.8%	13.7	↗
全体	43.2%	24.3%	18.9	↗

■採 算

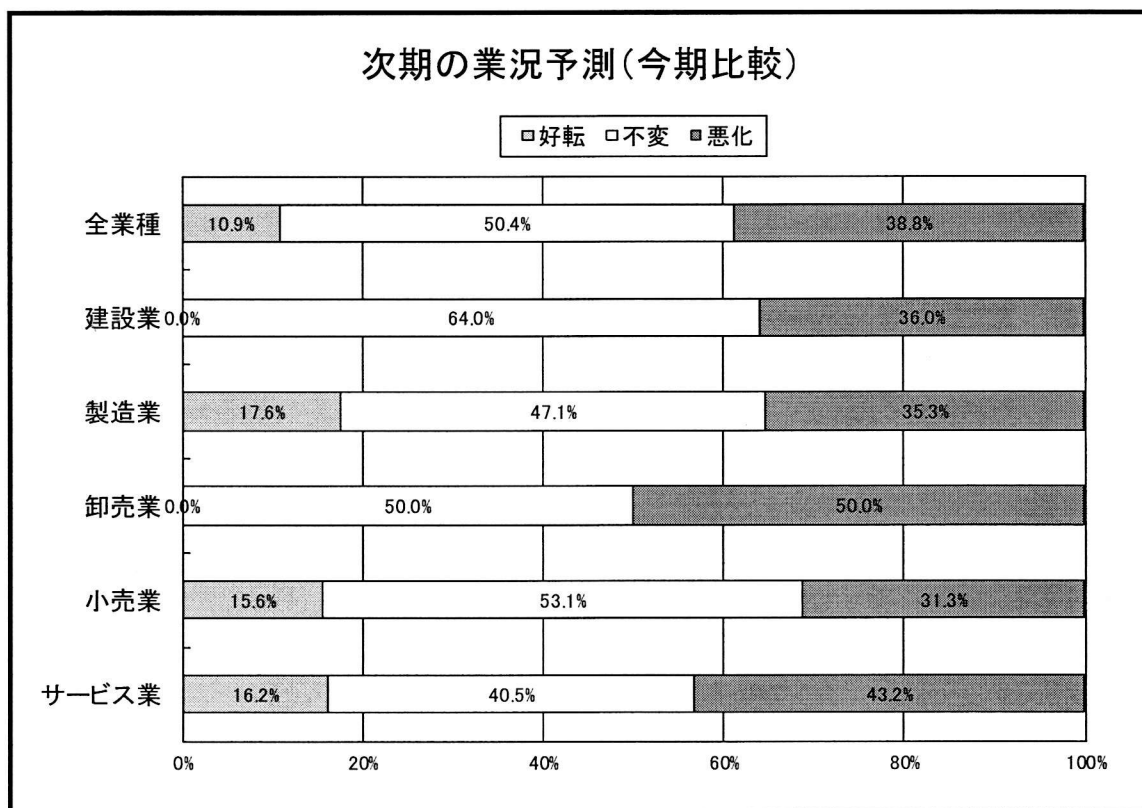
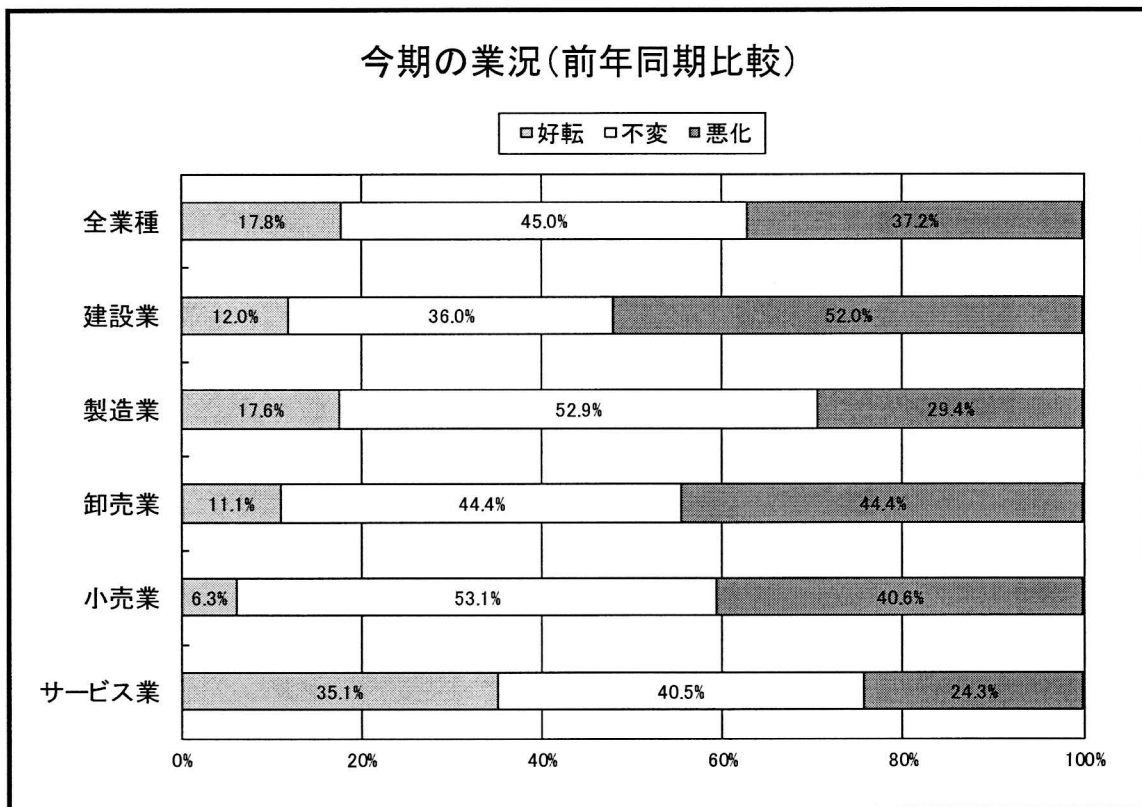
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	40.0%	6.7%	33.3	↗
非小規模企業	22.7%	27.3%	▲ 4.6	↘
全体	29.7%	18.9%	10.8	↗

■次期の見通し

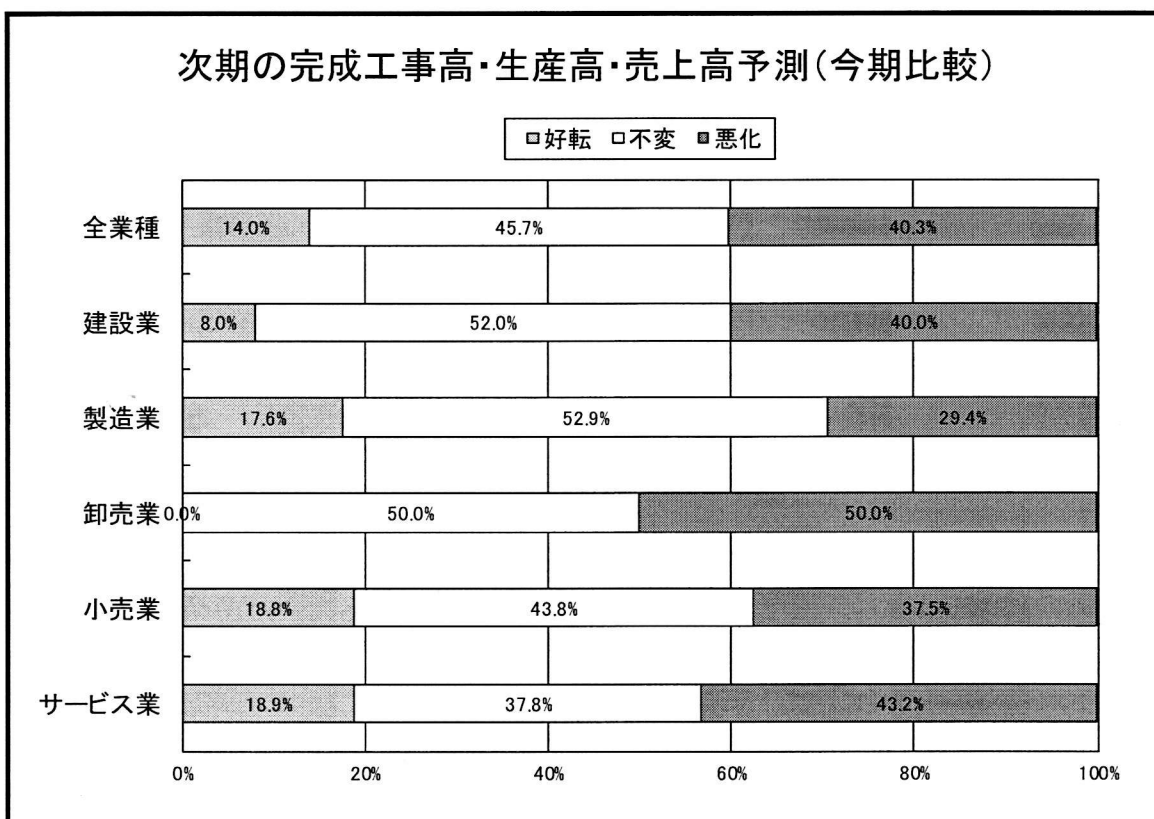
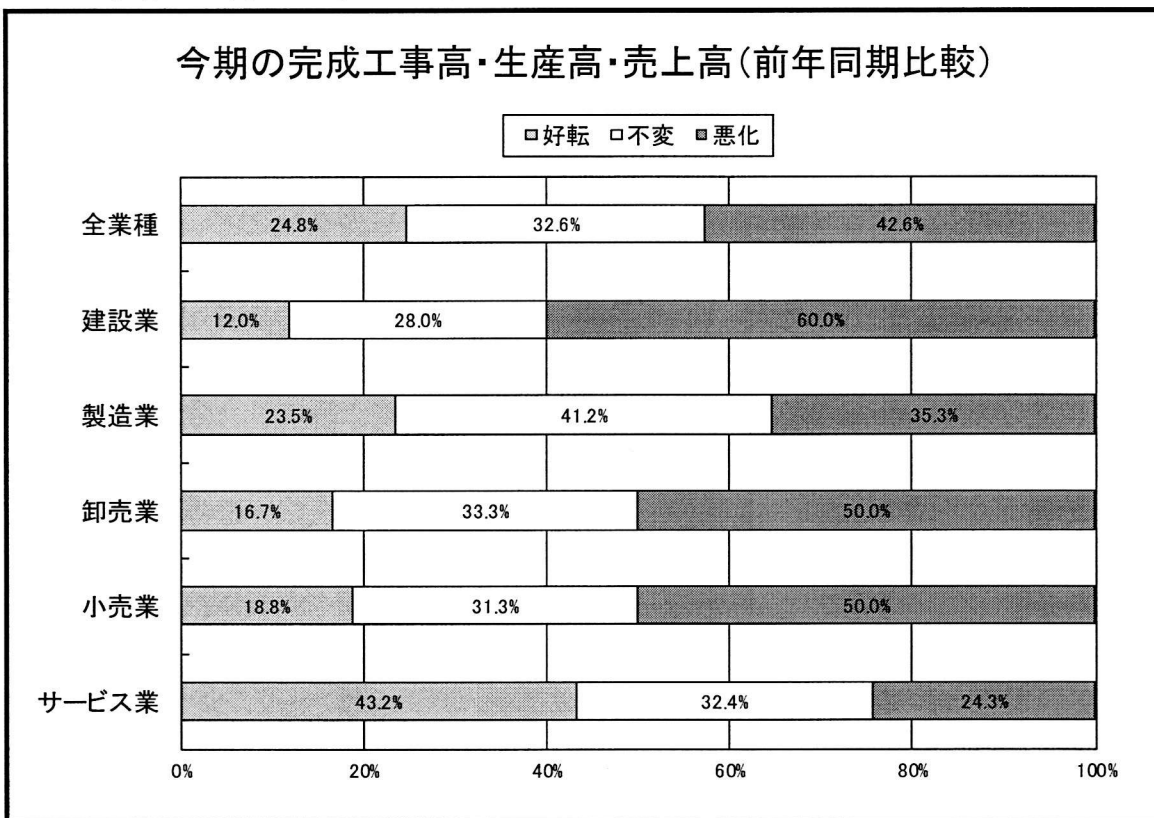
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	13.3%	26.7%	▲ 13.4	↘
	非小規模企業	18.2%	54.5%	▲ 36.3	↘
	全体	16.2%	43.2%	▲ 27.0	↘
売上高	小規模企業	13.3%	26.7%	▲ 13.4	↘
	非小規模企業	22.7%	54.5%	▲ 31.8	↘
	全体	18.9%	43.2%	▲ 24.3	↘
資金繰り	小規模企業	20.0%	13.3%	6.7	↗
	非小規模企業	9.1%	18.2%	▲ 9.1	↘
	全体	13.5%	16.2%	▲ 2.7	↘

第3章 各判断項目回答割合

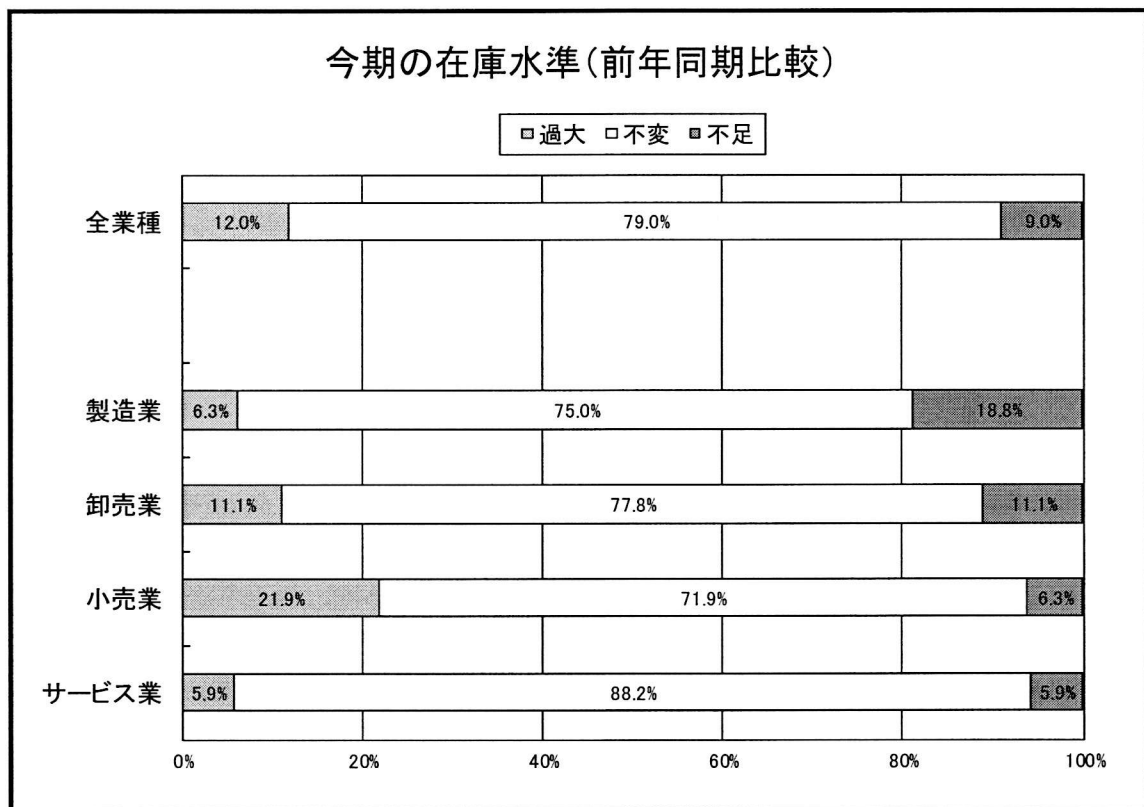
3-1. 業況



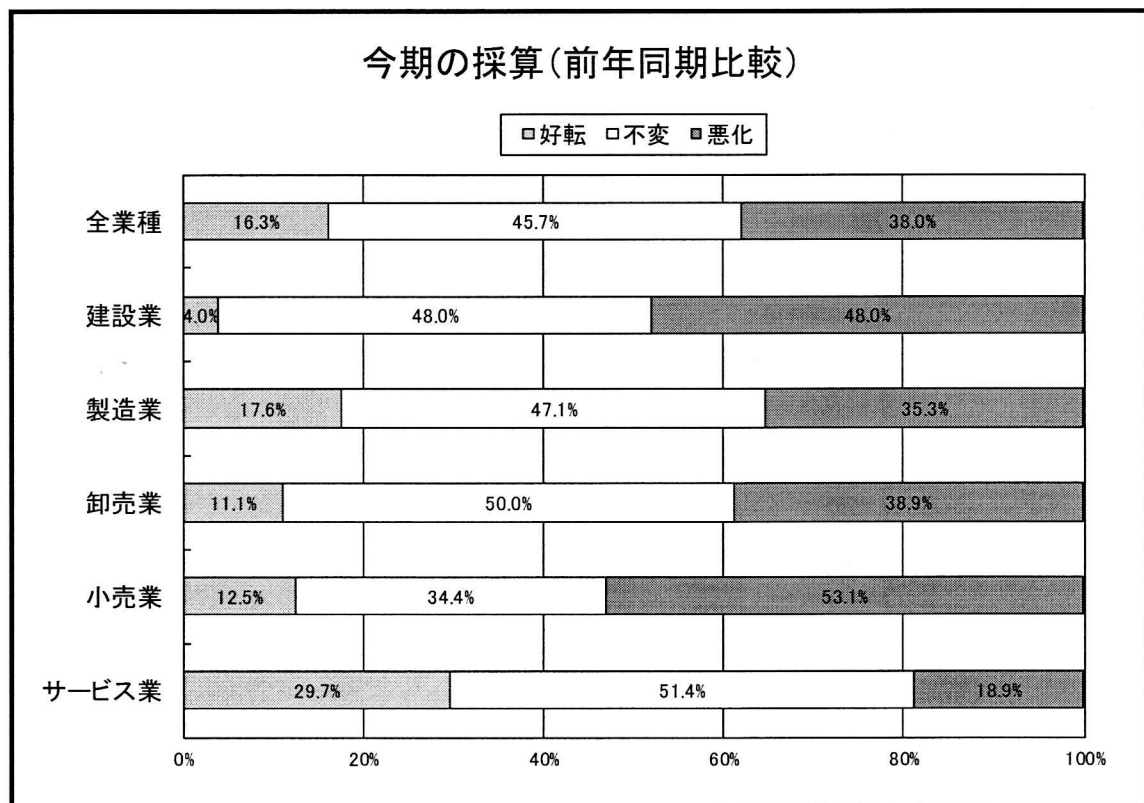
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



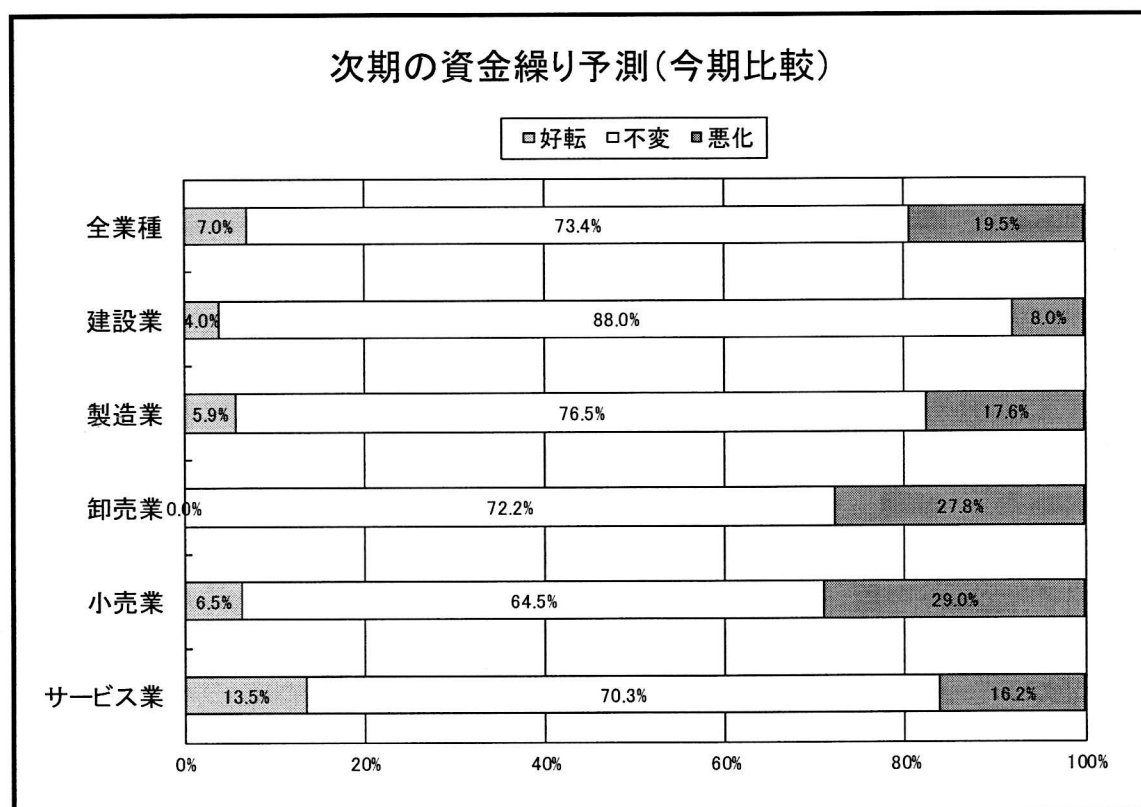
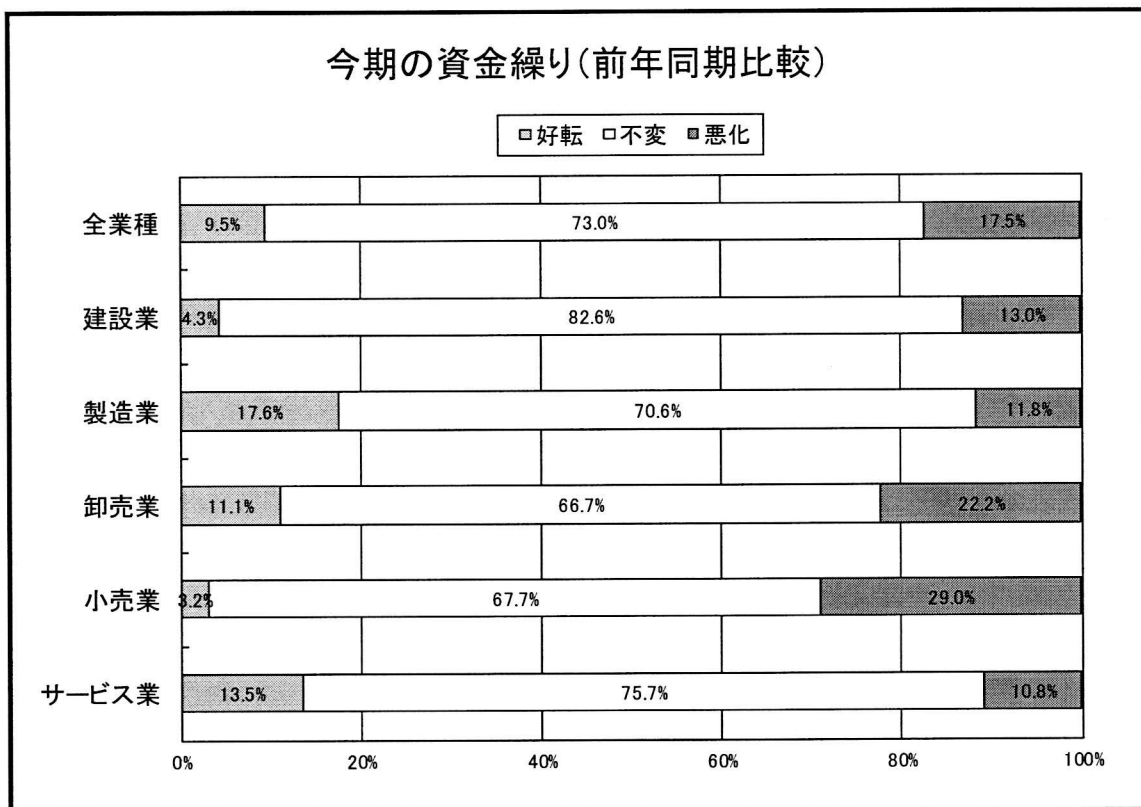
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

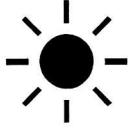


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 ($50 > \text{D.I.} \geq 25$)	まあまあ ($25 > \text{D.I.} \geq 0$)	不 振 ($0 > \text{D.I.} \geq \blacktriangle 25$)	きわめて不振 ($\blacktriangle 25 > \text{D.I.}$)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 $\blacktriangle 19.4$	 $\blacktriangle 27.9$
売 上	 $\blacktriangle 17.8$	 $\blacktriangle 26.3$
採 算	 $\blacktriangle 21.7$	
資金繰り	 $\blacktriangle 8.0$	 $\blacktriangle 12.5$

4－3．業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 ▲ 40.0	 ▲ 36.0
	完成工事高	 ▲ 48.0	 ▲ 32.0
	採 算	 ▲ 44.0	
	資金繰り	 ▲ 8.7	 ▲ 4.0
製造業	業 況	 ▲ 11.8	 ▲ 17.7
	生 産 高	 ▲ 11.8	 ▲ 11.8
	採 算	 ▲ 17.7	
	資金繰り	 5.8	 ▲ 11.7
卸売業	業 況	 ▲ 33.3	 ▲ 50.0
	売 上	 ▲ 33.3	 ▲ 50.0
	採 算	 ▲ 27.8	
	資金繰り	 ▲ 11.1	 ▲ 27.8

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 34.3	 ▲ 15.7
	売 上	 ▲ 31.2	 ▲ 18.7
	採 算	 ▲ 40.6	
	資金繰り	 ▲ 25.8	 ▲ 22.5
サービス業	業 況	 10.8	 ▲ 27.0
	売 上	 18.9	 ▲ 24.3
	採 算	 10.8	
	資金繰り	 2.7	 ▲ 2.7

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	売上の不振	人 材 経 費 増 諸 不 足		同業者間の競合	人 件 費 増
製造業	諸 経 費 増	人 件 費 増	売上の不振 人 材 不 足		得意先の減少
卸売業	得意先の減少	売上の不振	人 材 不 足	同業者間の競合 諸 経 費 増	
小売業	得意先の減少	同業者間の競合	売上の不振	諸 経 費 増	人 材 不 足
サービス業	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増	得意先の減少 同業者間の競合	
合 計	人 材 不 足	売上の不振 諸 経 費 増		得意先の減少	同業者間の競合

第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表 1 のとおり、設備内容は表 2 のとおりです。

表 1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	7 件 (28.0)	4 件 (23.5)	- -	7 件 (21.9)	11 件 (29.7)	29 件 (22.5)
しない	18 件 (72.0)	11 件 (64.7)	18 件 (100.0)	23 件 (71.9)	26 件 (70.3)	96 件 (74.4)
無回答	- -	2 件 (11.8)	- -	2 件 (6.3)	- -	4 件 (3.1)
合計	25 件	17 件	18 件	32 件	37 件	129 件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表 2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	1 件	-	-	-	1 件	2 件
店舗	-	-	-	2 件	3 件	5 件
販売設備	-	-	-	1 件	-	1 件
車輛	4 件	1 件	-	2 件	3 件	10 件
付帯設備	-	3 件	-	2 件	6 件	11 件
OA機器	2 件	-	-	-	3 件	5 件
福利厚生施設	-	-	-	-	1 件	1 件
その他	1 件	-	-	2 件	-	3 件

※複数回答があるため、表 1 の合計件数と相違している。

第8章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・協力業者（重機運搬・型枠鉄筋など）不足と請負金額が高いこと。（建設業）
- ・建設業の北海道の仕事が激減したこと。（建設業）
- ・オホーツク海の鮭水揚げ数量減少に伴う仕入価格の高騰。工場稼働優先の為と思われる。その為、利益が取れない状態となっている。（製造業）
- ・売上の不振が長期化している。人材不足で増産が思うようにできない。（製造業）
- ・原料、包装資材の値上り（製造業）
- ・遠い都市圏から安い価格で参入している（大きな物件など）。（製造業）
- ・本州、道内の輸送業者の不足による運賃の高騰の他、輸送に関する問題が多い。（卸売業）
- ・網走市には大学があり、人材を確保するのには大いに助かっているはずなのですが、人が集まらないのはともかくとして、ゴールデンウィーク・シルバーウィーク等、保育所が休みのときに大学が授業にあてるので、学生に頼りたい時にいないにも等しい状況です。中小企業には、どうにかならないものかと思っています。（小売業）
- ・従業員の給料を上げたことで、出来る利益を確保するのが難しくなりつつある。（小売業）
- ・4月、6月、7月と落ち込んで（前年対比93%）これは心配だったのですが、8月9月で盛り返して（前年対比104%）いますが、オホーツク圏は弱い感じ、空港着陸料などのサービスが必要ですね。（サービス業）
- ・8月9月、特にシルバーウィークが良かったのはプレミア券のせいかな。道内客も多かった。助かった。（サービス業）
- ・業況は良くない。合併により売上は増、今後は現状でいけばよし。（サービス業）
- ・店舗数が増加。（サービス業）
- ・管内人口減に伴い車輛台数なども減少していること。（サービス業）
- ・前期同様、地元の顧客の利用比率が低い。観光客の閑散期を迎えることで不安も大きい。求人に対する反応が鈍い。（店舗を一時休業するなどして対応）（サービス業）
- ・原材料の高騰が続く中、値上げを検討しているが、たいした景気も良くなく明るい材料もないので足踏み状態です。（サービス業）
- ・なかなか明るい兆しが見えてきません。（サービス業）
- ・喫茶業は苦境にありますが無くなることはありません。人はコミュニケーションなくしては生られません。コーヒー一杯で人の温もり、社会状況の把握、心の健康などを得るメリットがあります。人が楽しめるサロンの喫茶店を創り出せば、細々ながらも営んでいくことができます。少しでも魅力ある喫茶店づくりを目指したいと思います。（サービス業）